

## 病害虫発生予察注意報第2号

### 佐賀県

水稲のトビイロウンカについては、注意報第1号(令和元年8月1日付け)を発表し、注意喚起を行ってきたところですが、9月上旬の定期調査において、本虫の発生が急激に増加した圃場が認められました。ついては、以下を参考に、圃場ごとの発生状況を確認したうえで防除対策を徹底してください。

作物名：早植え及び普通期水稲  
病害虫名：トビイロウンカ

#### 1) 注意報の内容

発生地域：県内全域  
発生量：平年より多い

#### 2) 注意報発令の根拠

- (1)9月2日に実施した早植え水稲の調査(山間地域16圃場)では、トビイロウンカの発生株率は30.5%(平年4.0%、前年0.0%)であり、平年及び前年より多かった(図1、表1)。
- (2)9月2~4日に実施した普通期水稲の調査(48圃場)では、発生株率は18.9%(平年7.8%、前年0.0%)であり、平年及び前年より多かった(図2、表2)。発生は、県中西部で多い傾向がみられた(表2)。
- (3)一部圃場では本虫の急激な増加を確認しており、また、多くの圃場で、増殖率が高い短翅型雌成虫が認められる(表1、2、写真1~3)。
- (4)県内の一部圃場では、本虫の大量発生に伴い、稲の坪枯れが発生したところがある。
- (5)福岡管区气象台が8月23日に発表した九州北部地方の向こう3ヶ月の予報では、9月の気温は平年並か高いと予想され、本虫の増殖にやや好適な条件となっており、発生が更に増加し被害を生じる恐れが高まっている。

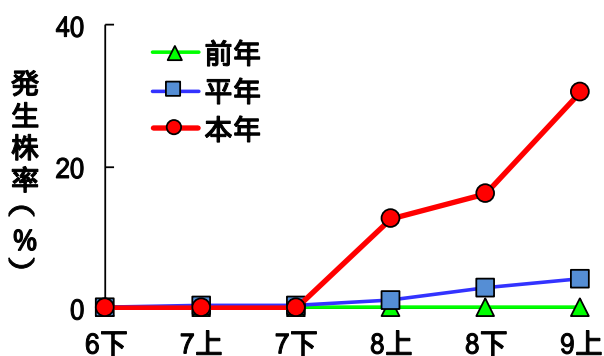


図1 山間早植え水稲でのトビイロウンカの発生推移

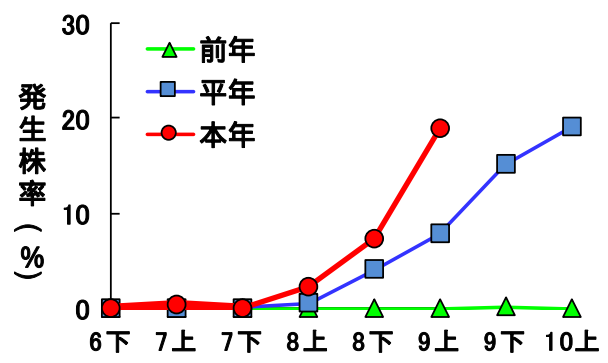


図2 普通期水稲でのトビイロウンカの発生推移

表1 山間早植え水稲におけるトビロウカ  
の発生状況（2019年9月2日、25株調査）

調査地点 注1	寄生 株数	最高注 頭数2		幼虫 の 齢	確 認 短 翅 雌 成 虫
		成虫	幼虫		
1	株	頭	頭	中～老齡	
佐賀市	2		1		
富士町( )	3				
4	0				
1	16	2	50	若、老齡	
佐賀市	2	1	10	若、老齡	
富士町( )	3				
4	1	1			
1	25	10	150	若～老齡	
神崎市	2	5	100	若～老齡	
脊振町	3				
4	9	2	2	中～老齡	
1	23	3	40	若～老齡	
佐賀市	2		1	中～老齡	
三瀬村	3	3			
4	0				
本年 発生株率(%)	30.5				
平年 発生株率(%)	4.0				
(平年比)	多				
前年 発生株率(%)	0.0				
(前年比)	多				

注1) 上記の各地点の圃場の結果が、必ずしも当該地域全体の発生状況を示すものではない。  
注2) 25株調査のうち、最も発生が多かった株の最高頭数を示す。



写真1 トビロウカ雌成虫の  
短翅型(定着型、写真上)と  
長翅型(移住型、写真下)

表2 普通期水稲におけるトビロウカの発生状況  
(2019年9月2～4日、25株調査)

調査地点 注1	寄生 株数	最高注 頭数2		幼虫 の 齢	確 認 短 翅 雌 成 虫	品 種	
		成虫	幼虫				
1	株	頭	頭			夢しずく	
佐賀市	2						
東与賀町	3						
4	0						
1	0					さがびより	
多久市	2						
3	0						
4	2		1				中齡
1	0					さがびより	
小城市	2	1					
三日月町	3						
4	0						
1	3	1	1	中齡			
鳥栖市	2	1					
3	0						
4	0						
1	0						
神崎市	2						
千代田町	3						
4	0						
1	1	1					
吉野ヶ里 町	2						
3	0						
4	0						
1	25	10	110	若～老齡		夢しずく	
唐津市	2	5	80	若～老齡			
3	19	2	10	若～老齡			
4	21	2	20	若～中齡			
1	5	2	5	中～老齡		田んぼの夢	
伊万里市	2						
3	8		1	若～中齡			
4	5		1	若、老齡			
1	0					さがびより	
武雄市	2						
3	7	1	1				若～中齡
4	1		1				中齡
1	0					ヒノヒカリ	
白石町	2						
3	10	1	5				中～老齡
4	1	1					
1	0					さがびより	
鹿島市	2						
3	1		1				中齡
4	18	7	5				中～老齡
1	22	8	20	中～老齡		夢しずく	
嬉野市	2						
3	25	10	20	中～老齡			
4	24	8	30	中～老齡			
本年 発生株率(%)	18.9						
平年 発生株率(%)	7.8						
(平年比)	多						
前年 発生株率(%)	0.0						
(前年比)	多						

注1) 上記の各地点の圃場の結果が、必ずしも当該地域全体の発生状況を示すものではない。  
注2) 25株調査のうち、最も発生が多かった株の最高頭数を示す。



写真 2 調査圃場で確認したトビイロウンカ その 1  
(2019年9月3日撮影)



写真 3 調査圃場で確認したトビイロウンカ その 2  
(2019年9月4日撮影)

### 3) 防除上注意すべき事項

- (1) 本年は、トビイロウンカの飛来が断続的にみられたことから、飛来波ごとの幼虫の出現時期は異なる。
- (2) また、田植え時期、地域、水稻の品種、これまでの防除歴等の違いによって、発生状況は圃場毎に大きく異なるので、発生予測図(図3)を参考に、必ず圃場の発生状況を確認する。
- (3) 早植え水稻では、本虫の多発生を確認し、防除が必要と判断された場合は、農薬使用基準を遵守したうえで、早急に防除を行う。
- (4) 普通期水稻では、9月上～中旬に老齢幼虫及び成虫の合計数が 1株当たり5頭以上 (要防除水準) みられる圃場では、本虫の幼虫ふ化揃い期をねらって防除を実施する。
- (5) 本虫は株元に生息しているので、薬剤は株元まで十分かかるよう、丁寧に散布する。
- (6) 薬剤散布の際には、周辺作物への飛散防止に努めるとともに、収穫前使用日数及び使用回数等の農薬使用基準を遵守する。

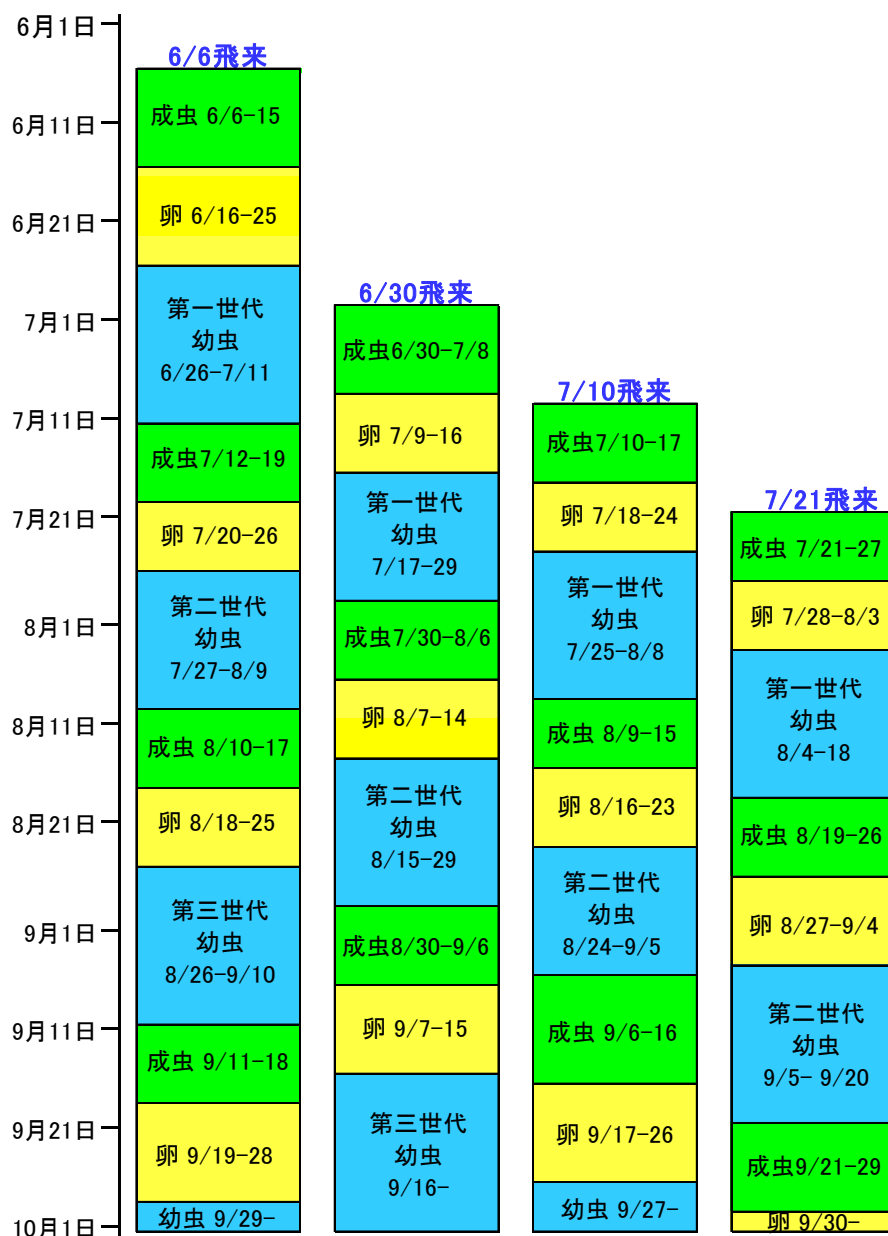


図3 トビイロウンカ各世代の発生予測(第7版、2019年9月5日作成)

1. 6月6～7日頃(図では6月6日)、6月30日頃、7月10～11日頃(図では7月10日)、7月21日頃に飛来したウンカを起点とし、有効積算温度と佐賀市川副町の気温データ(第6版では8月21日までは実測値で以降は平年値、第7版では9月4日までは実測値で以降は平年値)を基に作成した。その結果、第7版は第6版と比べ、各飛来虫の、その後の発生時期は約2～3日遅くなった。
2. 本虫に対しては、幼虫ふ化揃い期の防除効果が最も高い。しかし、本年は断続的に飛来がみられたことから、飛来波ごとの幼虫の出現時期は異なる。
3. 普通期水稻には、6月6日飛来虫は定着していないと考えられる。この例のように、各飛来波に対する防除の重要度は、田植え時期によって異なる。
4. 田植え時期に加え、地域、水稻の品種、これまでの防除歴等の違いによって、発生状況は圃場毎に大きく異なるので、必ず圃場の発生状況を確認したうえで、防除対策を講じる。

連絡先：佐賀県農業技術防除センター 病害虫防除部  
 〒840 2205 佐賀市川副町南里1088  
 TEL (0952)45 8153 FAX (0952)45 5085